Agilent

• PXIT 11.1 Gb/s パターン・ジェネレータ

N2102B

• PXITシンセサイザ

N2099A

Data Sheet

N2102B PXIT パターン・ジェネレータは、2スロット幅のPXIモジュールで、低ジッタで622 Mb/sから11.1 Gb/sまでのレートにおける、数々の業界標準のパターンを発生することができます。N2102Bは、これらのレートで動作する外部クロック信号源の併用が必要です。

N2099A　PXITシンセサイザは、2スロット幅のPXIモジュールで、2つのRF出力をもち、2 GHzの周波数範囲にわたって周波数が可能できる信号発生器です。必要となるアプリケーションに合わせて、異なる周波数範囲をカバーする3つのオプションを用意しています。N2099AはN2102Bの理想的なクロック信号源となります。

どちらもアジレントPXITファミリの一員で、N2100B PXIT DCAおよびN2101B PXIT BERTと組み合わせることで、より一層強力なソリューションを提供できます。N2101B PXIT BERTのフルレート・クロック出力を用いて、N2102B PXITパターン・ジェネレータを動作させることも可能です。

Agilent Technologies

PXIT 11.1 Gb/s パターン・ジェネレータ N2102B

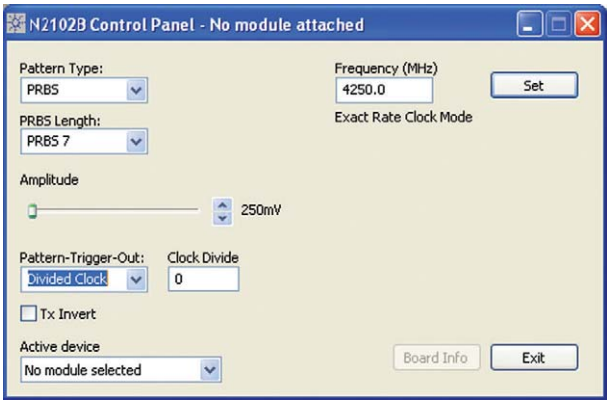
特長

- PRBS 生成2 n-1：n=7、9、11、15、23、31
- ユーザ選択可能なデータパターンK28.5、K28.7およびCRPat
- 単一エラー挿入または、エラーレート挿入
- 差動のデータ出力
- SMAトリガ出力（クロックの128分周、パターン、ユーザ定義バーストが可能）
- SMAクロック入力と出力
- 外部クロック信号を併用
- 2スロット幅のコンパクト
- ユーザ定義パターン：
  - ＊ 2048ビット最大長
  - ＊ 16 Kバイト（パターン長が64の整数倍のとき）

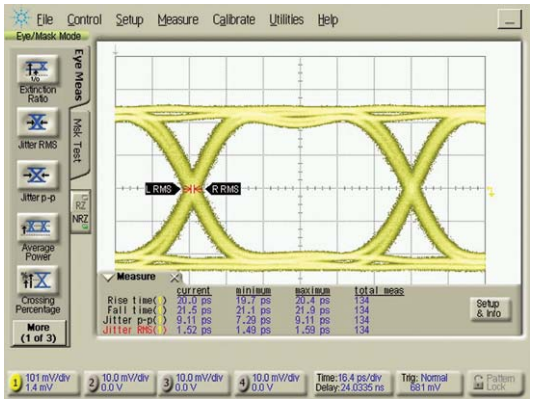
仕様

パラメータ	仕様
ビットレート動作範囲	622 Mb/s～11.1 Gb/s
立ち上がり／立下り時間（20-80 %）	25 ps最大、*22 ps（特性）*
出力固有ジッタ	2.5 ps-rms最大、*1.5 ps-rms（特性）*
出力電圧範囲（シングルエンド）	250 mV～1 Vpp
振幅分解能	5 mV
パターン・トリガ/分周クロック出力電圧	*1 Vpp（特性）*
前面パネルコネクタ	SMA
外部クロック入力電圧範囲	*500 mV～1.1 V（特性）*

注：特に記述のない限り、信号はAC結合で公称50 Ω終端を想定



わかりやすい操作画面－構成設定画面



N2101B　10.3125 Gb/sにおけるアイ出力例、86100Cにて実測

PXITシンセサイザ
N2099A

N2099Aシンセサイザは、2スロット幅のPXI測定器です。永磁YIG（PMYTO）を用いたシンセサイザで、2 GHzの周波数範囲内で周波数を可変できます。

Active Xドライバが用意されているので、ソフトウェア・インタフェースを使うことも容易で、またGUI（グラフィカル・ユーザ・インタフェース）による手動設定も可能です。

特長

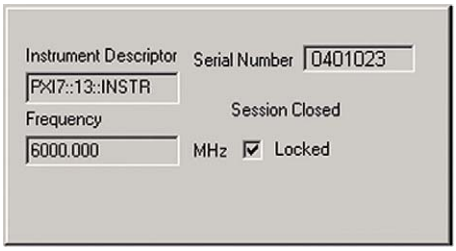
- 4.25 GHzから11.5 GHzまで3つの周波数レンジをカバー
- 2 GHzの周波数同調範囲
- 2出力
- 10 MHz基準出力
- 優れた位相雑音特性
- 設定周波数は不揮発性メモリで保存
- 2スロット幅のPXIモジュール

仕様

パラメータ	仕様
出力中心周波数	5.25 GHz、9.5 GHz、10.5 GHz（オプション指定）
周波数同調範囲	±1.0 GHz
出力パワー　最小値	+9 dBm（4、5、6 GHz）特性
	+7 dBm（8、9、10、11 GHz）特性
パワー変動（温度、周波数）	±2 dB
同調微調分解能	1 kHz
切り替え速度（100 MHzステップ）	100 ms（代表値）
出力インピーダンス	50 Ω
負荷VSWR	2.0:1
外部基準出力（TCXO）	10 MHz

ソフトウェア

N2102BとN2099Aおよびその関連ソフトウェアは、PXI仕様に適合しています。このため、Windows(r)アプリケーションが用意されており、ユーザによる開発を経ずに本機の制御が可能となります。プログラミング開発を容易にし互換性を保つために、Active Xコントロールが用意され、Active X適合プログラム環境におけるプログラム開発を可能とします。これにはVisual C++、Visual Basic、C#、Excel®、LabView™および多数の環境が含まれます。

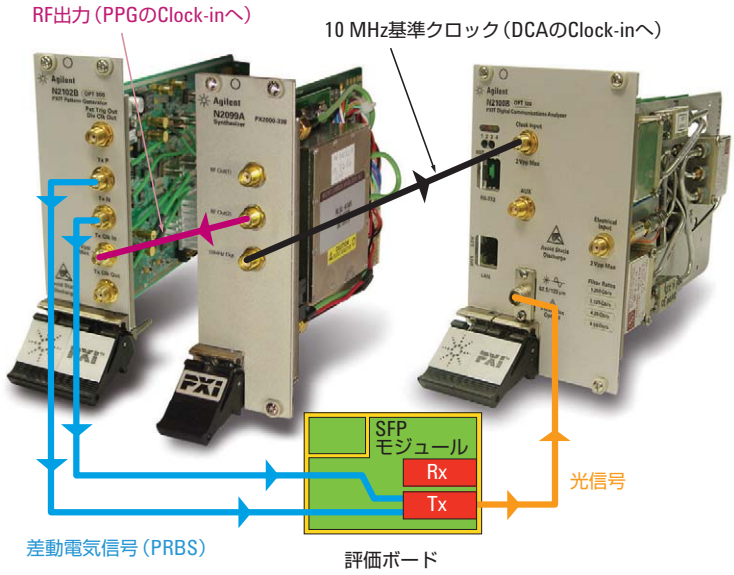


ソフトウェア特長：

- Active Xインタフェースによる簡単なプログラミング
- Windowsアプリケーション・コントロール・パネル
- VISA分配ソフトウェアが必要（National Instrument社から入手）

代表的な構成

パターン・ジェネレータ/シンセサイザ、DCAによる光トランシーバ・モジュールの測定



オーダリング

N2099A　PXITシンセサイザ	オプション052	4.25 GHz～6.25 GHz
	オプション094	8.4 GHz～10.4G Hz
	オプション105	9.5 GHz～11.5 GHz
N2102B PXIT　パターン・ジェネレータ	オプション300	622 Mb/s～11.1 Gb/s

電子計測UPDATE

www.agilent.co.jp/find/emailupdates-Japan
Agilentからの最新情報を記載した電子メールを無料でお送りします。

Agilent Direct

www.agilent.co.jp/find/agilentdirect
テスト機器ソリューションを迅速に選択し使用できます。

Microsoft® は、Microsoft Corp.の米国登録商標です。

LabVIEW is a tyademark of
National Instruments Corporatiom.

Remove all doubt

アジレント･テクノロジーでは、柔軟性の高い高品質な校正サービスと、お客様のニーズに応じた修理サービスを提供することで、お使いの測定機器を最高標準に保つお手伝いをしています。お預かりした機器をお約束どおりのパフォーマンスにすることはもちろん、そのサービスをお約束した期日までに確実にお届けします。熟練した技術者、最新の校正試験プログラム、自動化された故障診断、純正部品によるサポートなど、アジレント･テクノロジーの校正･修理サービスは、いつも安心で信頼できる測定結果をお客様に提供します。

また、お客様それぞれの技術的なご要望やビジネスのご要望に応じて、
・アプリケーション･サポート
・システム･インテグレーション
・導入時のスタート･アップ･サービス
・教育サービス
など、専門的なテストおよび測定サービスも提供しております。

世界各地の経験豊富なアジレント･テクノロジーのエンジニアが、お客様の生産性の向上、設備投資の回収率の最大化、測定器のメインテナンスをサポートいたします。詳しくは：

www.agilent.co.jp/find/removealldoubt

アジレント･テクノロジー株式会社
本社〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

修理･校正･保守契約 お客様窓口
受付時間 9:00-19:00（土･日･祭日を除く）
FAX、E-mail、Webは24時間受け付けています。
TEL ■■ 0120-421-345
(042-656-7832)
FAX ■■ 0120-421-678
(042-656-7840)
Email contact_japan@agilent.com
電子計測ホームページ
www.agilent.co.jp

● 記載事項は変更になる場合があります。
ご発注の際はご確認ください。

Copyright 2008
アジレント・テクノロジー株式会社

Agilent Technologies

January 30, 2008
5989-7067JAJP
0000-00DEP